

令和6年10月11日

保護者各位

鳥栖市立鳥栖北小学校
校長 長尾 真司

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について（お知らせ）

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、その調査結果をもとに本校の結果について分析をしました。結果の概要についてお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

1 令和6年度全国学力・学習状況調査について

令和6年4月18日、下記のような内容で全国一斉に小学校6年生を対象として実施されました。調査内容は、次のとおりです。

(1) 教科に関する調査（国語、算数）
①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
調査問題では、①と②が一体的に問われています。
(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して調査されています。

2 教科に関する調査結果から全国平均正答率と比較して見える本校児童の姿

(1) 国語について

国語の平均正答率は、全国平均を上回っていました。具体的には、学習指導要領の領域で、情報の扱い方に関する「知識及び技能」、思考したことを作文などに書き表す力が特に正答率が高くなっていました。また、国語に関する「知識及び技能」の領域が特に上回っていました。一方で、文章を読み取った内容を書き表す領域が若干下回っていました。

(2) 算数について

算数の平均正答率は、全国平均を上回っていました。具体的には、学習指導要領の領域で、「数と計算」及び「図形」が特に正答率が高くなっていました。また、算数に関する「知識及び技能」の領域が特に上回っていました。一方で、「変化と関係」及び「データの活用」の領域が若干下回っていました。

国語・算数の両教科において、授業の中できちんと学習内容をおさえるとともに、基礎・基本的な内容を家庭学習などで復習し、確実に習得したことが成果となって表れたのではないかと考えられます。

3 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果から見える本校児童の姿

(学習に対する興味・関心意欲)

- ・国語科学習、算数科学習への興味・関心は全国平均と同程度でした。
また、下記の項目については全国平均を上回っていました。
「国語の勉強は好き」
「国語の勉強は大切」
「国語の授業の内容はよく分かる」
「算数の勉強は大切」
「算数の授業の内容はよく分かる」

(規範意識・自己有用感)

- ・規範意識を示す下記のような項目については全国平均と同程度でした。
「人が困っているときは、進んで助けている」
「いじめはいけないことだと思う」
「人の役に立つ人になりたいと思う」
- ・自己有用感を示す下記の項目については全国平均を上回っていました。
「自分にはよいところがあると思う」
「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」
「将来の夢や目標を持っている」

(生活習慣・学習習慣)

- ・朝食状況については、全国平均と同程度でした。
- ・家庭学習については、全国平均を上回っていました。
- ・「早寝早起き」については全国平均を上回っていました。

4 今後の改善策（児童の力をさらに伸ばすために）

- ・児童が、自分の思いをもち、自分なりの方法で伝えることができるように、各教科の授業の中で、教師が取る手立ての工夫を取り入れていきます。
- ・電子黒板やデジタル教科書のさらなる有効活用に加え、タブレットなどＩＣＴ機器の活用を継続し、より分かりやすい授業を目指します。
- ・児童の実態に応じて、基礎的・基本的な学習内容の定着を図っていきます。

5 ご家庭でお願いしたいこと

- 「家庭学習の手引き」をもとに学習する時間帯を決めてください。
※ 年度当初に県で作成したものを配布しています。また、10月には鳥栖中校区で作成したものを配布します。内容はほぼ同様です。
- 「生活リズムアップ大作戦」を活用して、早寝・早起き・朝ご飯などの基本的な生活習慣を定着させてください。
- 頑張っていることや良くできたことをほめて、自己肯定感をさらに高めるようにしてってください。